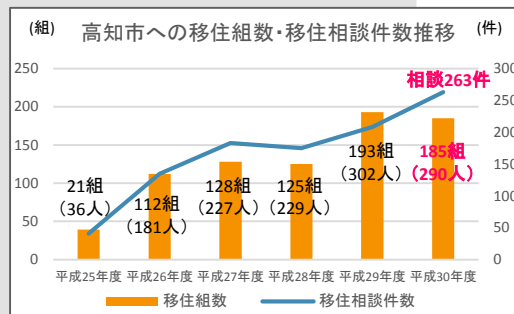


これまでの高知市の取組状況

1 移住・定住の取組

- 平成30年度の高知市への移住相談、移住者の数は概ね増加傾向にあり、**今年度の目標移住組数200組**に向けて順調に推移している。
- 現在の「高知市移住・定住促進計画」は令和元年度までであり、今年度に次期計画の検討を行う。



課題等

- 自治体単位でできることには限界があり、さらに移住を促進するためには、さらなる連携や体制強化が必要。
- 次期計画策定にあたり、県の方向性との整合性が必要。
- 新たな取組の検討を行う。

2 二段階移住の推進

プロモーション (平成30年度実績・令和4月現在)

(1)情報発信ツールの制作・広報

- ポータルサイト閲覧数
→**66,576ビュー**(2018.11～) 【H30年度KPI】25,000ビュー
【R4年度KPI】195,000ビュー(累積)
- イメージ動画閲覧数
→**60,361ビュー**(2018.11～) 【H30年度KPI】60,000ビュー
【R4年度KPI】77,000ビュー(累積)

(2)Instagramの連携投稿

- 高知県、市町村と連携したInstagramでの情報発信
→**フォロワー212人、投稿128件**



二段階移住支援

(1)二段階移住支援事業費補助金(令和7/31現在)

- ①二段階移住パスポート発行件数 (補助金交付決定者+体験滞在拠点「いっく」利用者)
→**累計40件**(補助金H30:24件/R元:11件、いっく5件) 体験滞在拠点「いっく」(県一宮職員住宅)
【参考】KPI H30:80件/R元:85件

- ②二段階移住組数
→**累計7組** ・H30:補助金⇒3件、いっく⇒1件 (移住先:芸西村,黒潮町,香南市,南国市)
・R元:補助金⇒3件(移住先:四万十町,南国市,土佐市(※))

【参考】KPI H30:10件 R元:20件

※8月に二段階移住

課題等

- 平成30年度はプロモーションは情報発信ツールの制作がメイン。
- 二段階移住先が高知市近郊に偏っており、**企業への就職や住まいが大きな要因**であると考えられる。
- 二段階移住に関する新規相談件数は7/31時点で累計113件、パスポート発行件数は累計40件(相談から発行につながる割合約36%)。さらに移住相談を増やしていく必要がある。
- 最終的な二段階移住は6組にとどまる。

3 生涯活躍のまちの推進

- 平成30年9月に高知市版「生涯活躍のまち」構想・基本計画を策定。
- 平成31年3月に2事業主体を選定、その後基本協定を締結。
[事業主体] ①くろしお医療福祉株式会社 ②一般社団法人高知サマサマCCRCセンター
- 今年度から地方創生推進交付金を活用し、2事業主体に対して、補助支援を行い、官民連携の下、生涯活躍のまちの実現に向けて取り組む。

課題等

- 事業が始まったばかりであり、移住に関する施策のノウハウが少ないことから、伴走的支援が必要。

高知県と連携した今後の展開

1 移住・定住の取組

◆関係機関とのさらなる連携、取組体制の強化検討

- 県・市の移住者数の定常化・増加のために、県・(一社)県移住促進・人材確保センターとの連携をより密にするとともに、高知市での取組体制強化に向けた組織(NPO等)の構築を検討する。

◆次期移住・定住促進計画策定に向けて

- 次期計画策定に向けて協力していくとともに、方向性の共有、目標の設定について協議していく。
- 新たな取組として、**Uターンをターゲットにした施策**、**関係人口の創出**の検討に際しての協力。

2 二段階移住の推進

プロモーション

キーワード #田舎暮らしは甘くない

さらに二段階移住を推進!

◆プロモーション活動を9月から展開

- 平成30年度に制作した情報発信ツールを活用した広報
- 「#田舎暮らしは甘くない」PR動画第2弾の制作
- 移住専門誌TURN'Sとタイアップした、県外での集客イベント「TURN'Sカフェ」、県内を巡る移住体験ツアー「TURN'Sツアー」を開催
- 幡多ブロックと高知県・高知市による二段階移住をテーマにした移住相談会「ハタカラ」を7/20(土)に開催(11組21人が参加)
- 高知県、市町村と連携したフェイスブック、Instagramでの情報発信

◆相談窓口や移住相談会でのPRへの協力

- (一社)県移住促進・人材確保センターや県主催の相談会での二段階移住PRへの協力。

二段階移住支援

◆引き続き一段階目(高知市)への移住補助金の交付

- 上限22万円(荷物運搬費用、賃貸借物件の初期費用、レンタカー利用料)

◆体験滞在拠点「いっく」1・2号室の活用

- 高知県の協力をいただき、高知市または県内への移住希望者に貸出。

◆二段階目の移住相談での連携

- (一社)県移住促進・人材確保センター・市町村と協力し、二段階目の移住を促す。



3 生涯活躍のまちの推進

◆シニア世代の活躍の場を作り出す

- 各事業主体が保有するノウハウやネットワークを活用し、各種施策とも連携を図りながら、アクティブシニアの移住を促進するとともに、シニア世代が活躍できる環境(雇用等)を整備する。